



学校だより

令和6年度 9月号
令和6年8月30日
さいたま市立大谷口中学校

【学校教育目標】 かしこく 美しく たくましく

自分に自信をもつ学校生活

校長 小林 正樹



夏休みが終わり、2学期が始まりました。夏休み中、お子様の健康に十分気を配り見守ってくださいました保護者の皆様、心より感謝申し上げます。学校といたしましても残暑が厳しい毎日が続きますが、引き続き、熱中症対策に配慮しながら教育活動を進めてまいります。どうぞよろしくお願いたします。

さて、2学期は、多くの行事があります。例年、さいたま市では新人体育大会や駅伝競走大会、校内でも創立50周年合唱コンクールといった大きな行事があります。これらの行事への取組を通して、個人として集団としてそれぞれの目標に向かって進んでいくことになります。しかし、目標の達成は一気にはいきません。日常の取組で課題や困難を乗り越えるため、自分で解決したり仲間と協力したりして地道に活動を積み上げ、確かな成果としていくのです。そうやって得た力で目標を達成することができれば、何事にも替えられない感動と喜びを得ることができ、自らの大きな自信となるはずです。

また、2学期は、3つの学期の中でも一番長い学期です。3年生の皆さんにとっては進路の選択がいよいよ現実のものになってきます。授業の1時間、1時間を大切に、家庭学習の時間も確保しながら学力をつけて欲しいと思います。また、多くのよき思い出となる学校行事もあります。たくさんのかことに取り組んだり、挑戦したりする機会を通して「一生懸命やればやるだけ、学ぶこと、得ることが多い」ということを心と体で味わってください。しかし、一生懸命やれば、苦しいことや辛いことにも出会うことになります。そんなとき決して逃げないで、乗り越えてほしいと強く願っています。そのためには、「志」と「目標」を軸におき、さらに自分自身と自分の周りの人たちを大切にすることです。そうすることで、苦しいときや辛いときでも、ひとりでなく、勇気をくれる友だちや、一緒に乗り越えてくれる仲間ができるはず。そんな友とともに、自分を成長させ、自分に自信をつけてほしいと心から期待しています。そして、「自分としてはよくやった」、「自分もまんざらでもない」など自分で自分をほめてあげてください。友だちもほめてください。そんな、みんなでほめ合い認め合うことができる明るい2学期にしていきましょう。

最後に、保護者・地域の皆様には、この2学期も引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。